

昨年度課題

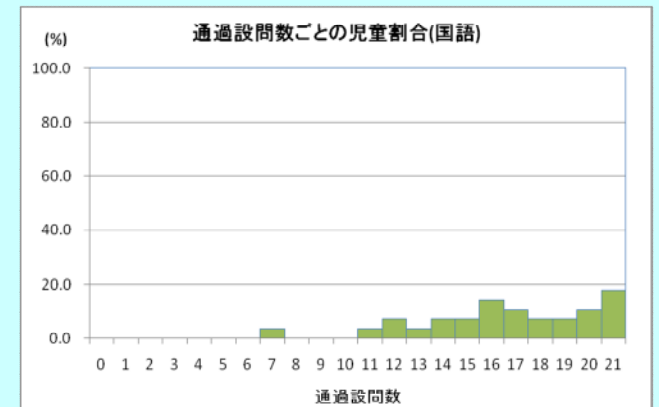
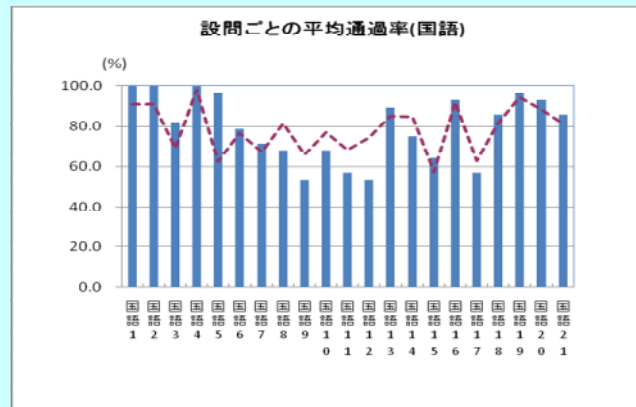
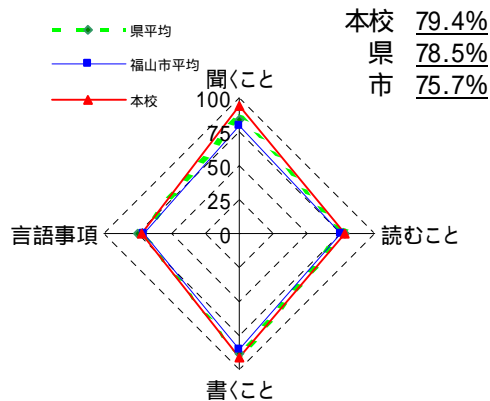
場面の移り変わりや情景を、叙述に即して想像しながら読む力の定着が不十分である。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

登場人物の性格、行動、会話、他の人物との関係や情景描写等、根拠となる表現を基に、気持ちを想像させる。「どのように登場人物の気持ちをとらえたか」について、自分の考えと根拠となる表現の両方を書かせ、考えと根拠のつながりについて、友だちと交流する場を設定する。

《本年度の目標値 全国標準学力検査「読む力」において 全国平均通過率を上回る。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

文中における主語と述語の関係を捉えることができない。(通過率 53.6%)
 ローマ字で書き表されたものを読んだり、書いたりすることができない。(57.1%)
 説明文を読み、段落相互の関係をとらえる。(57.1%)

取組みの検証

時期：1月後半 目標値：通過率を20%向上
 方法：全国学力調査 言語事項・説明文の読解の分野

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【国語科】

言語活動として、生活文・意見文・報告文等を書く活動を仕組み、その際、文章を自ら推敲し、主述の関係を捉えるようにさせる。
 国語科のみならず、各教科等の学習や日常生活においても辞書を利用していく。パソコンでローマ字を入力するときなど、語や文、文章を作る学習を設定し、次の学年でも継続的に繰り返し取り組む。書かれている内容の中で中心となる語や文に着目し、段落の内容を的確につかめるようにする。基本的な文章から構成、相互関係をとらえ、徐々に複雑な文章へと指導を継続的に行う。

【全校・他教科等】日記・作文において主述を意識したものを書かせる。1年を通してローマ字の練習・読書をさせる。

来年度の目標値

主述の関係・ローマ字の読み書き・段落相互の関係で通過率 70%を目指す。

授業改善シート〔算数〕

校番(35) 福山市立藤江小学校

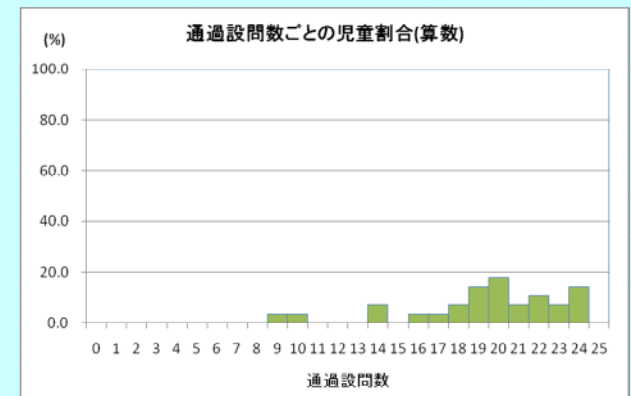
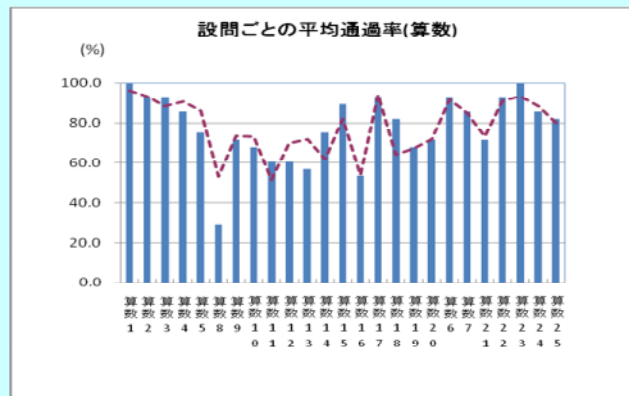
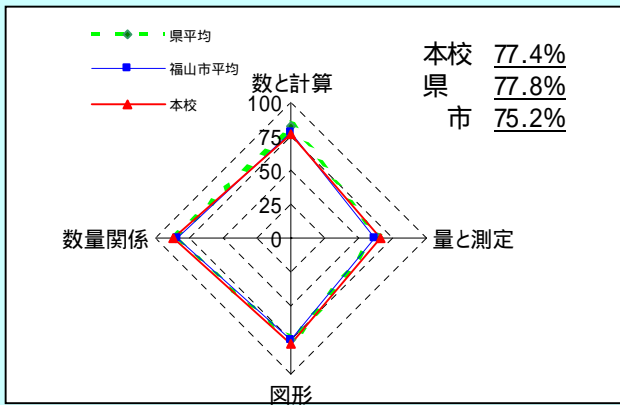
昨年度課題

任意単位による重さの比較が理解できていない。
 複合面積を求めるために必要な長さはどれであるか考察できていない。
 直角三角形の定義・用語の理解が不十分である。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

様々な場で、任意単位による比較ができることを実感させ、応用・活用できる力をつける。
 面積の基本的な概念の習得、図形の分解・合成等の操作活動を多く仕組む。
 図形の定義や性質を基に図形が作図できるようにする。
 《本年度の目標値 全国標準学力調査で「量と測定」「図形」において全国平均通過率を上回る。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

- 【数と計算】
 - 分数の意味と表し方(通過率 28.6%)で、仮分数の意味がわかってない。
- 【量と測定】
 - 面積の単位(通過率 57.1%)で、面積の単位 cm^2 の意味を理解していない。
 - 複合図形の面積(通過率 53.6%)で、図形を分割したり、補ったりして長方形、正方形に帰着させて面積を求める方法を理解していない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

- 【算数科】
 - やテープ図などを手がかりとして、1より大きい分数もあることをしっかり意識づける。
 - また、用語(真分数・仮分数)についても、算数的活動を仕組む。
 - 身の回りにある図形の面積を求める算数的活動を多く仕組み、量感を養う。
 - 図形の分解・合成等の操作活動を多く仕組み、複合面積の求め方には、いろいろな方法があることを話し合わせる。
- 【全校・他教科等】
 - 学習した用語は、掲示するなど発表するときに生かす。
 - 家庭学習において、課題項目の問題を増やし、理解の定着を図る。

取組みの検証

時期 1月後半 目標値 全国平均通過率を上回る。
 方法 全国学力調査「数と計算」「量と測定」において

来年度の目標値

分数の意味と表し方・面積の単位・複合図形の面積問題で通過率70%を目指す。